

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和7年度 第1回加須市魅力ある学校づくり審議会
開催日時	令和7年11月17日（月） 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	加須市役所 本庁舎5階 504会議室
議長氏名	福田 康宏会長
出席委員	福田 康宏会長、寺井 次郎副会長、飯田 亜貴子委員、江森 藤久委員、風間 啓委員、関根 憲夫委員、石川 安則委員、石原 肇委員、町田 彰委員、尾高 幸江委員、内田 親委員、芳賀 英暢委員、清水 尚雄委員、外山 真衣委員、南條 みぎわ委員、砂川 瞳委員、藤間 昌子委員、小海 昭彦委員（18人）
欠席委員	羽鳥 善治委員、市川 邦夫委員（2人）
会議次第	<p>1 開会 2 委嘱状の交付 3 教育長あいさつ 4 会長・副会長の選出 5 会長・副会長あいさつ 6 疎問 7 議題 　(1)これまでの主な経過と基本方針の概要について 　(2)基本計画策定スケジュールについて 　(3)意見交換 8 閉会</p>
会議資料の名称	・次第 ・資料1 これまでの主な経過と基本計画策定スケジュールについて
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	生涯学習部長 斎藤 千恵美、学校教育部長 中島 高広、魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔

事務局職員職・氏名	生涯学習部長 齋藤 千恵美、学校教育部長 中島 高広、 教育総務課長 矢部 良貴、学校教育課長 高橋 一也、 魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔、同室主査 渡邊 圭佑、 同室魅力ある学校づくり推進専門員 杉田 勝
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	<p>1 開会</p>
小野田教育長	<p>2 委嘱状の交付</p>
小野田教育長	<p>3 教育長あいさつ</p>
事務局	<p>4 会長・副会長の選任</p> <p>加須市魅力ある学校づくり審議会条例第5条の規定により、会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定めるとしている。</p> <p>また、会長が議長となるとしているが、現在空席のため、会長、副会長が選任されるまでの間、暫定的に会議を進行する仮議長を選出したい。</p> <p>仮議長に小野田教育長を充てたいが、よろしいか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>ご異議がないので、小野田教育長に暫時進行をお願いする。</p>
仮議長（小野田教育長）	<p>会長・副会長を互選により定めるということだが、まずは、事務局から提案させていただくということでよろしいか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
仮議長（小野田教育長）	<p>ご異議がないので、事務局からの提案をお願いする。</p>
事務局	<p>事務局としては、会長に福田委員をお願いしたい。</p> <p>福田委員は、公立の小学校及び中学校において校長を歴任し、現在はスクールソーシャルワーカーとして活動している。</p> <p>また、自治協力団体の代表を務めた経歴を有しており、教育現場と地域の双方の視点を併せ持つ人材であるとの考え方から、会長として提案する。</p> <p>副会長については、加須市校長会の会長である寺井委員にお願いしたい。</p> <p>寺井委員は、市立小中学校の校長で組織する加須市校長会の会長を</p>

	<p>務め、校長会を統括する調整力を有している。</p> <p>会長を力強く補佐し、審議の内容を学校現場へ円滑に浸透させ得る人材であるとの考えから、副会長として提案する。</p>
仮議長（小野田教育長）	<p>事務局から、会長に福田委員、副会長に寺井委員との提案があつたが、いかがか。</p>
各委員	異議なし
仮議長（小野田教育長）	<p>ご異議がないので、会長には福田委員、副会長には寺井委員にそれぞれ就任いただくことに決定し、仮議長の任を下ろさせていただく。</p>
事務局	<p>5 会長・副会長あいさつ ここで、福田会長、寺井副会長にご挨拶をいただきたい。</p>
福田会長、 寺井副会長 小野田教育長	<p>あいさつ</p> <p>6 質問 小野田教育長から福田会長へ質問書を手交</p>
事務局	<p>(各委員へ質問書(写)の配付・事務局の紹介) ここで、小野田教育長は公務の都合により退席させていただく。 以後の議事進行については、福田会長にお願いしたい。</p>
福田会長	<p>7 議題 (1)これまでの主な経過と基本方針の概要について、事務局から説明をお願いする。</p>
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長 福田会長	<p>(資料に基づき説明) 事務局の説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。</p>
石川委員	<p>基本方針には、外国籍の児童生徒に関する記述が十分でないのではないか。 本市では、外国にルーツを有することどもが増えており、そうした児</p>

	<p>童生徒やその保護者との意思疎通に課題が見られる場合がある。 基本計画には、これらの点も反映した方がよいと思う。</p>
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	<p>外国にルーツのあるこどもの数は、確かに増加している。 学校再編ともなれば、そうしたこどもたちへの配慮も必要となってくると認識している。</p>
石川委員	<p>学校再編により通学が遠距離となる場合、スクールバスの運行等について検討が必要になると考えるが、スクールバスの活用を前提に、特定の学校を英語教育の重点校にして、日本人も含め、外国にルーツを有する児童生徒の受け入れを行うといったことも検討し得るのではないかと提案する。</p>
江森委員	<p>基本方針の21ページにある小中学校設備の状況について、大規模改造工事と長寿命化改良工事の違いは何か。</p>
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	<p>大規模改造工事は、建築後45年程度を超えて、躯体の状況が健全な施設を対象に、経年による劣化や損傷・故障等の大規模な改修を行う工事として整理している。 長寿命化改良工事は、加須市学校施設長寿命化計画において、建築後40年を経過し、今後30年以上使用できる施設を対象に、建物の耐久性を高めるとともに、建物の機能や性能を向上させることを目的とした工事としている。 現在は、長寿命化改良工事を重視して整備を行っている。</p>
江森委員	<p>基本方針の20ページに、学校施設の使用年数を80年と考えているとあるが、長寿命化工事を完了した学校は70年から80年使用していくということでよいか。</p>
齊藤生涯学習部長	<p>長寿命化改良工事については、工事後30年使える状況にすることを目的としている。</p>
江森委員	<p>大規模改造工事については、そういう目的ではないという違いがあるということと理解した。 基本方針の24ページに「既に通学区域の検討に着手しているものは」とあるが、実際に着手している学区があれば教えてほしい。</p>

斎藤生涯学習部長	<p>近年、水深地区で住宅がかなり建てられており、現在の校舎では教室が不足する心配が出てきている。</p> <p>そこで、水深地区の通学区域をどうすべきか、という審議会が先週立ち上がって、審議をいただいているところである。</p>
江森委員	<p>基本方針の26ページの今後のスケジュールについて、計画が具体化していくのは令和10年度以降という理解でよろしいか。</p>
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	<p>現時点の予定では、皆様に審議いただく基本計画を令和8年度中に策定し、その後、早期に再編を行う学校に係る個別計画を策定していく。</p> <p>個別計画の策定は、令和10年度中を目指としており、個別計画に従って計画の具体化を進めていく。</p>
関根委員	<p>基本方針の1ページでは、小学校22校、中学校8校を対象といった文言が、また、基本的な考え方として、小学校を優先するといった文言がある。</p> <p>その際、小学校と中学校を一つのまとまりとして、24ページにあるような学校形態の検討をする方向性なのか、あるいは小学校同士を再編するといった考え方を選択肢にあるのか。</p>
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	<p>基本計画策定に当たって、まず20年先の児童生徒数の将来推計を算定し、20年先の児童生徒数の状況を踏まえ、小学校、中学校の枠組みをどうするのか、今後検討していくものである。</p>
関根委員	<p>基本方針の24ページにある小規模特認校や学びの多様化学校については、不登校児童生徒への配慮という中で、ICT活用によるオンライン教育というのも検討材料に入ってくるのか。</p>
中島学校教育部長	<p>不登校対応を考える上で、学びの多様化学校というのも検討対象としてある。</p> <p>オンラインについては、現在、教育センターで実施をしている。</p> <p>義務教育の学校で、オンラインでの対応を行うかどうかについては、今のところ検討には上がってはいないが、今後の検討課題としたい。</p>

福田会長	続いて、(2) 基本計画策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	(資料に基づき説明) 事務局の説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
福田会長	(意見等なし)
福田会長	続いて、(3) 意見交換について、1回目の審議会ということもあり、委員の皆様から自己紹介をお願いしたい。 学校再編に関するお考えもあれば、手短にお願いしたい。 なお、話しきれなかったお考えや思いなどは、お手元の意見シートに記入し、提出いただきたい。
各委員	(順番に自己紹介) (以下、学校再編に関する考え方等の発言)
内田委員	もっとスピード感をもって学校再編を進めるべきだろう。
南條委員	こどもたちにとって、よりよい方向になるとよい。
町田委員	こどもたちが大きくなても地域に残り、また、自分のこどもたちを育てていきたいくなるような地域づくりも合わせてやっていく必要があると思う。
風間委員	失敗を通して自ら学ぶ、これがよい学びのプロセスだと思う。 そういった力を与えられる環境づくりが必要だと思う。
江森委員	学区の見直し、統廃合、スクールバスの運行など、選択肢はいろいろあると思うが、地域の皆様との合意形成が重要となってくると思う。
飯田委員	こどもたちのための学校づくりを考えていきたい。

福田会長	<p>意見や感想、質問など、全てが審議会の進行に役立つものかと考えている。</p> <p>事務局には、次回に向けて整理していただきたい。</p> <p>事務局から追加説明はあるか。</p>
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	(意見シートの提出について依頼するとともに、次回日程は12月18日を予定しており、詳細については会議資料と併せて委員に通知することを説明)
福田会長	<p>以上で本日予定していた議事は全て終了した。</p> <p>これにて本日の議長の任を降りさせていただく。</p>
事務局	8 閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年12月8日

署名

福田康宏